中学校 × 特別の教科 道徳

# 特別の教科 道徳どこが変わる？

まず現行と次期をマーカーで比べ、そのあと現行の解説（公式PDF）を読めます。

変わる所 6項目　解説PDF 1件



## 10秒でいうと

**複数時間での扱いと「深める教材」（13程度が目安）。教師が交代で学級を回る授業も可**

中学校でも、道徳科の目標は今の書き方を保ちつつ、1つの教材を複数時間で扱う授業を進める方向です。深める教材の目安は13とされ、読み物教材は精選されます。また、先生が交代で学級を回って授業する「チームで行う道徳授業」を、学校の実態に応じて導入できると明確にする方向です。情報モラルやAIをめぐる問いを扱うことも示されています。

## どこが変わる？現行⇔次期（中学校）

黄色のマーカー＝次期で新しく入る・強調される言葉　~~赤の取り消し線~~＝現行から消える・変わる言葉

### 授業の進め方

**現行**

1授業で1つの読み物教材を扱うことが多い。学習指導要領には「一つの内容項目を複数の時間で扱う指導」も例として書かれている。

→

**次期（審議まとめの案・告示前）**

1つの教材を翌週にまたがるなど複数コマで扱い、2コマ目に「**深める教材**」や問題解決的・体験的な学習を組み合わせて「**じっくりと深く学ぶ**」。

P309　P310　※単時間でこうした工夫を行うことも引き続き考えられるとされる（P310注）。

## 教科書の教材構成

**現行**

各学年の教科書に35コマ分の
いわゆる「読み物教材」が
載っているのが基本。

→

**次期（審議まとめの案・告示前）**

読み物教材を**精選**し、「**深める教材**」
と合わせて35コマ分に。**深める
教材**の目安は中学校13、
小学校高学年8、中学年4、
低学年0。

P312 ※資料編m4 P88では、教科書のイメージであり現場の実践を制限しない、「深める教材」も使わなければならないものではないと注記。示し方は教科書検定基準との関係も含め今後検討（P312注）。

## 問題解決的な学習で扱う「問題」の例

**現行**

平成28年の報告で4項目（価値が
実現されていない問題、理解不足や
誤解の問題、分かっているのに
できない葛藤、複数の価値の対立）
を例示。

→

**次期（審議まとめの案・告示前）**

「**価値の実現をめぐる葛藤**」
「**価値の対立をめぐる葛藤**」の
2項目に整理して解説で例示。
価値の対立を扱う際は複数の
内容項目を設定できると明確化。

P311

## 道徳科の授業者

**現行**

中学校は「学級担任が行うことを
原則」。解説で、教師が交代で学年の
全学級を回る取組も効果的と記載。

→

**次期（審議まとめの案・告示前）**

学校の実態に応じ、教師が交代で
学年・学級を回って授業する方策の
**導入が可能**と明確化（導入時の
留意点も示す）。

P315 ※資料編m4 P89に、小中それぞれで内容項目を分担し週ごとに授業交換するイメージあり。

## 目標・見方考え方・評価

**現行**

目標は発達段階に応じて書き分け。
見方・考え方は目標と別に
示さない。評価は数値でなく
記述式、大くくりのまとまりで、
他者と比べない個人内評価。
調査書に書かず入試に使わない。

→

**次期（審議まとめの案・告示前）**

いずれも**現行の考え方を維持**。
資質・能力を観点別に分けて
扱わない整理も継続。

P306 P308

## 内容項目の文言（中学校の例）

**現行**

［家族愛，家庭生活の充実］「父母，
祖父母を敬愛し」、［友情，信頼］
「心から信頼できる友達をもち」。

→

**次期（審議まとめの案・告示前）**

例えば「**父母、祖父母等の家族**」、
「**友達と互いに信頼し合い**」と
するなど記載を見直す。

P307 ※「例えば」とされており、最終的な文言は未確定。

## 現行の解説を読む（公式PDF）

いまの中学校の特別の教科 道徳の解説です（文部科学省のPDFが新しいタブで開きます）。

PDF **特別の教科 道徳編**
中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別の教科 道徳編

## 学習指導要領の本文

PDF **中学校学習指導要領（平成29年告示）**
全教科の目標・内容（この教科は第2章）

## もっとくわしく

**特別の教科 道徳の変更点（くわしく）** **新旧比較（全校種）** **中学校の先生へ**
**資料室（中学校のほかの教科）**

出典：中央教育審議会 初等中等教育分科会 教育課程部会「次期学習指導要領等に向けた審議まとめ」（2026年10月5日）。**P○** は本体PDFのページ、**資料P○** は資料編のページ（クリックで該当ページが開きます）。